

令和3年 第8回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和3年 第8回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年8月20日(金) 13:40～16:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**
 西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、柳田委員、片山委員
【事務局】
 迫田教育局長
 (企画総務課) 川邊課長、川崎室長
 (学校施設課) 河野課長
 (学校教育課) 牧野課長
 (教育情報研修センター) 堀之内所長
 (生涯学習課) 中野課長
 (保健給食課) 大賀課長
 (文化財課) 白坂課長

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第30号	令和2年度一般会計歳入歳出決算の原案について	教育局長 各課長
議案第31号	令和3年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 企画総務課長 生涯学習課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第29号	新型コロナウイルス感染症に係る対応について	教育局長
報告第30号	事故等の報告について	学校教育課長
報告第31号	公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について	生涯学習課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第8回教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>それでは、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、片山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>まず、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをご覧ください。</p> <p>「(1) 教育長報告」、「(2) 委員報告」、「(3) 教育局長報告」については、報告案件はございません。</p> <p>「(4) 各課行事報告等」については、記載のとおりです。</p> <p>順番が前後しますが、議案第30号「令和2年度一般会計歳入歳出決算の原案について」は、各課長及び所長の入退室があるため、報告案件を説明後に審議していただきます。</p> <p>まず、議案第31号「令和3年度一般会計補正予算案の原案について」と、報告案件3件のうち、報告第29号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」、報告第30号「事故等の報告について」の2件については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開としたいと思います。
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>それでは、続きまして、報告第31号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
中野生涯学習課長	<p>資料の5ページをお開き下さい。報告第31号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」説明します。記載のとおり、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、宮崎市の出資比率が50%以上である、「公益財団法人宮崎文化振興協会」の経営状況等について報告するものです。</p> <p>当日配布している冊子でご説明します。</p> <p>まず、「令和2年度 公益財団法人宮崎文化振興協会 事業報告書及び決算書」において、令和2年度の事業報告からご説明します。</p> <p>1ページをご覧ください。文化振興協会の「事務局経営戦略課」の事業です。1ページに記載している文化振興協会の研修や健康管理などの総務業務、及び2ページの「1日子ども館長」や「学術・科学技術・文化・芸術振興のための研究事業」など文化振興に資する事業を実施しています。</p> <p>次に、宮崎文化振興協会は、令和2年度は「宮崎科学技術館」「宮崎市生目の杜遊古館」、「宮崎市佐土原歴史資料館」、「宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館」、「宮崎市大淀川学習館」、「宮崎市民プラザ」の6館の施設について、指定管理者として施設の運営を行っています。入館者の実績等は最後にまとめてご説明します。</p> <p>3ページからは、「宮崎科学技術館」の事業になります。4ページから6ページに記載のとおり、常設展示や科学実験・工作教室、九州最大級である直径27mのプラネタリウムホールの機器システムを生かした事業などに取り組みました。</p>

また、7ページ以降になりますが、文化振興事業では、プラネタリウムホール内で「コンサート」や「えほんの読み聞かせ」などを開催しました。

14ページからは、「宮崎市歴史資料館」の事業についてです。

15ページからは、令和2年度から、指定管理施設として運営している「宮崎市生目の杜遊古館」の常設展示事業や企画展示事業、歴史文化振興・教育普及事業などを記載しています。

18ページからは、「宮崎市佐土原歴史資料館」の事業についてです。

21ページからは、「宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館」の取組を記載しており、貴重な資料、及びそれぞれの地域の特色・施設の特性を活かした企画展を実施しました。

24ページからは「大淀川学習館」の事業です。25ページから記載している「2 展示事業」をご覧ください。大淀川学習館では、例年、人気の高い特別企画展の「カブトムシ・クワガタムシ展」や多数の企画展を開催し、幅広い世代の方に来場いただきました。

28ページの「3 学校対応事業」、29ページの「教室事業」では、子どもたちに自然環境の大切さを学ぶ機会を提供するため、小中学校や各種団体と連携した事業も実施しました。

最後に、33ページからの「宮崎市民プラザ」の事業についてですが、36ページに記載の「市民プラザ寄席」や「開館20周年記念事業 松本紀生アラスカ・フォトライブ」などの自主事業の実績を記載しています。

なお、令和2年度の各館の事業については、新型コロナウイルスの影響による中止や延期もありました。また、感染拡大防止に伴う入場制限、及び感染予防対策を徹底して開催したことを申し添えます。

40ページをご覧ください。各施設のこれまでの入館者数の推移です。表の一番上に記載している施設名ごとに説明します。

まず、表の一番左の「宮崎科学技術館」は、令和2年度の入館者数は、49,827人で、前年度より93,603人減少しています。

次に、「生目の杜遊古館」は、14,755人、
「佐土原歴史資料館」が6,381人、
「天ヶ城歴史民俗資料館」が10,355人、
3館合計で、31,491人です。

次に、「大淀川学習館」は、52,759人で、前年度より125,101人減少しています。

最後に、「宮崎市民プラザ」は、84,410人で、前年度より138,213人減少しています。

いずれも、入館者数の減少の主な原因は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、複数期間、臨時休館や利用制限を実施したことによるものです。

41ページをご覧ください。令和2年度の決算についてご説明します。

まず、「貸借対照表」ですが、法人の主要な財務諸表のひとつで、令和3年3月31日現在の協会の財務状況を示すものです。

ローマ数字Ⅰの「資産の部」ですが、

「1. 流動資産」の合計は、1億2,345万160円。

「2. 固定資産」の合計は、1億1,208万2,654円。流

動資産と固定資産を合わせた、「資産合計 (①)」の金額は、2億3,553万2,814円です。

次に、ローマ数字Ⅱ「負債の部」です。

「1. 流動負債」の合計は、6,086万4,864円。

「2. 固定負債」の合計は、3,220万7,980円。

流動負債と固定負債を合わせた、「負債合計 (②)」の金額は、9,307万2,844円です。

次に、ローマ数字Ⅲ「正味財産の部」です。

宮崎市及び国富町と綾町からの出捐金である「指定正味財産」の合計が3,000万円で、これは全額、「2. 固定資産」の「(1) 基本財産」に充当しています。表の下から2行目正味財産合計は、資産合計①から負債合計②を差し引いたもので、1億4,245万9,970円です。

次に、42ページの「正味財産増減計算書」をご説明します。

正味財産増減計算書は、民間企業の「損益計算書」に相当するものです。

ローマ数字Ⅰ「一般正味財産経常増減の部」の「1. 経常増減の部」「(1) 経常収益」ですが、①から④までのうち、「②事業収益」に本市からの指定管理料等を計上しています。令和2年度の経常収益計(A)は、5億6,115万7,954円で、前年度の令和元年度より、1,313万2,470円増加しています。

「(2) 経常費用」の「①事業費」は、所管施設の事業を実施するために要する経費、「②管理費」は、各種の事業を管理するため、毎年度経常的に要する経費です。

43ページの中ほどにあります「経常費用計(B)」は、5億4,117万949円で、前年度の令和元年度より、103万3,444円増加しています。全体では、42ページの「経常収益計(A)」から43ページの「経常費用計(B)」を差し引いた、「経常増減額」は、1,998万7,005円となります。

次に、「2. 経常外増減の部」です。

「当期経常外増減額(C)」は0円。

「法人税、住民税及び事業税(D)」は77万8,500円。

当期一般正味財産増減額は、1,920万8,505円となります。

これに、年度初め残高である、一般正味財産期首残高の9,325万1,465円を加えた「一般正味財産期末残高(E)」は、1億1,245万9,970円となります。

この一般正味財産期末残高(E)に、ローマ数字Ⅱの「指定正味財産増減の部」の有価証券や定期預金である「指定正味財産期末残高(F)」の3,000万円を加えた、正味財産期末残高は、1億4,245万9,970円となります。なお、これらの決算書については、令和3年6月1日、税理士を含む監事2名による監査を実施し、「監査報告書」として、適正な処理であることが報告されています。

続きまして、「令和3年度 公益財団法人宮崎文化振興協会 事業計画書及び収支予算書」の資料をご覧ください。

4ページから、「事務局経営戦略課」の事業についてです。今年度の新規事業としては、「理科の授業づくりサポート事業」「職員スキルアップ事業」、また、昨年に引き続き、「子どものための音楽会

	<p>事業」「1日子ども館長事業」を実施します。</p> <p>6ページは「宮崎科学技術館」についてです。、事業概要の5番目にもありますが、人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開を図るとともに、プラネタリウム事業やイベント事業を引き続き展開していきます。</p> <p>次に、14ページから22ページにかけては、宮崎市歴史資料館の3館について記載しています。「宮崎市生目の杜遊古館」では、体験学習事業やイベント事業を実施します。「佐土原歴史資料館」「天ヶ城歴史民俗資料館」ともに、それぞれの施設の特性を活かした事業を展開していきます。</p> <p>23ページからの「大淀川学習館」におきましては、常設展示や企画展・作品展示を充実させつつ、動植物の生態及び大淀川の特性を生かした様々な事業を実施する予定にしています。</p> <p>32ページからの「宮崎市民プラザ」については、3つの取組方針をもとに、自主事業を展開してまいります。</p> <p>続きまして、35ページをご覧ください。令和3年度「収支予算書」です。</p> <p>「一般正味財産増減の部」「1. 経常増減の部」、「(1) 経常収益」の合計は、5億7,968万4千円で、令和2年度に比べ383万6千円の増額です。</p> <p>主な収入としては、「事業収益」にある「指定管理料収益」、及び令和2年度から導入された「利用料金収益」です。次に、「(2) 経常費用」です。また、35ページの中段各施設の運営費等の「事業費」と、36ページの上段の「管理費」の合計が、36ページの中段「経常費用計」であり、合計は、6億178万円です。報告第31号についての説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいま説明のありました、報告第31号について、ご質問はございませんか。
柳田教育委員	「自主事業収益」とは、施設の事業により得られた収入ということですか。
中野生涯学習課長	42ページの表の上段にある「自主事業収益」については、令和2年度から宮崎科学技術館が「利用料金制」を取り入れており、施設の入館料や使用料を、指定管理者である文化振興協会の収入とすることができるものです。
柳田教育委員	もう一点質問です。様々な事業がコロナ禍により実施出来なかったことによる影響で、経常収益が減っていると思っていましたが、むしろ、増えているのはどういったことが原因なのでしょう。経常費用を見ると、光熱費などは特に減っているの、利用が少なかった分、経費が減って、利益的には上がっているということなのでしょう。
中野生涯学習課長	たしかに、様々な事業については、コロナ禍によって実施出来たものは少なかったです。それでも経常収益が増えているのは、先ほど説明した「利用料金制」を令和2年度から取り入れたことによるものです。 <p>また、経常費用については、休業の影響で執行されなかった費用である消耗品費や印刷費、イベントで使う紙代も減っています。そして、「光熱費」については、民間の電力会社と契約する事で、かなり経費の削減ができたとお聞きしています。</p>
柳田教育委員	分かりました。

	<p>もう一点お聞きしたいのが、今後の計画についてです。イベント等は実施できる前提で、予算を組んでいるのでしょうか。</p>
中野生涯学習課長	<p>はい。イベントが実施できるという前提で、事業計画しています。また、今現在の実施状況としては、休館をしている施設では実施が出来ない状態ですが、休館していない施設では、イベント等を実施しており、非常に好評を得ているという報告を受けています。</p>
西田教育長	<p>他にご質問はありませんでしょうか。</p>
今門代表教育委員	<p>これだけ多くの教育施設を所管している宮崎市は、子ども達にとっても非常に環境に恵まれているところだと思います。また、コロナ禍で閉館がされたり、大変だったことと思います。例えば、大淀川学習館に行くと、蝶の部屋などがあって、広々としていてワクワクします。来館数は減ったとはいえ、修学旅行で訪れたという話を聞いたりすると、宮崎市の教育施設は、やはり宝だと改めて思います。今後是非多くの方に足を運んでもらいたいと思います。</p>
中野生涯学習課長	<p>ありがとうございます。 文化振興協会では、学習指導要領をもとに、学習分野と施設での体験学習と紐付けをして整理した冊子があり、宮崎市内の学校はもちろん、他の市町村の学校にも、県内の教育委員会を通して配布し、活用をお願いしていると聞いています。以上です。</p>
西田教育長	<p>他にご質問はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>質問がないようでしたら、報告案件は以上となります。 続きまして、資料3ページをご覧ください。議案第30号「令和2年度一般会計歳入歳出決算の原案について」事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>それでは、議案第30号「令和2年度一般会計歳入歳出決算の原案」につきまして、「議案第30号 別紙1」「別紙2」を使って説明します。 まず、「議案第30号 別紙1」の歳入をご覧ください。 これは、教育委員会7課の歳入の決算をまとめたものです。 総額としては、裏面の一番下の行に歳入合計を計上しています。 予算現額が 29億3,817万1,000円に対して、 調定額が 29億9,022万5,513円、 収入済額が 28億1,680万 213円、 収入未済額が 1億7,342万5,300円です。 それでは、収入未済額の内訳を説明します。 「第45款 分担金及び負担金」をご覧ください。収入未済額が133万3,300円です。内容は、児童クラブ事業利用者負担金の未収分です。 次に、「第55款 国庫支出金」をご覧ください。 収入未済額が1億7,197万2千円です。内容は、令和2年度「学校施設環境改善交付金」を活用した「小・中学校トイレ改修事業」や「中学校屋内運動場大規模改造事業」などの事業について、令和3年度へ繰り越すことに伴うものです。 次に、裏面の、「第85款 諸収入」です。 収入未済額が12万円です。内容は、「20項 貸付金元利収入」の奨学金貸付金元金の未返済分です。歳入については以上です。</p>

次に、「議案第30号 別紙2」の歳出をご覧ください。

はじめに、「第20款 民生費」ですが、
予算現額が 6億8,687万2千円、
支出済額が 6億6,344万4,512円、
不用額は 2,342万7,488円です。

次に、下の「第55款 教育費」ですが、
予算現額が 117億2,924万6,400円、
支出済額が 106億7,760万5,767円、
翌年度繰越額が 6億6,449万円、
不用額が 3億8,715万633円です。

それでは、翌年度繰越額について説明します。

「第55款 教育費」「第10項 教育総務費」の、
繰越額、8,321万3千円については、備考欄に記載のとおり、
「学校ICT環境整備促進事業」 7,830万3千円、
「情報教育推進事業」 491万円
を本年度へ繰り越したものです。

次に、「第15項 小学校費」の、繰越額、1億8,288万9千円については、主に特効需要の交付決定に伴い、「小学校トイレ改修事業」や「小学校公共下水道接続事業」のほか、「避難経路安全対策事業」、「35人学級教室整備事業」を本年度へ繰り越したものです。

次に、「第20項 中学校費」の、繰越額、3億9,838万8千円についても、主に特効需要の交付決定に伴い、「中学校トイレ改修事業」や、住吉中学校の「中学校屋内運動場大規模改造事業」のほか、「中学校校舎外壁落下防止対策事業」、「中学校空気調和設備更新事業」を本年度へ繰り越したものです。

続きまして、不用額について説明します。

まず、「第20款 民生費」については、委託料や工事請負費の執行残などによるものです。

次に、「第55款 教育費」の、「第10項 教育総務費」については、「修学旅行取消料等支援事業」において、申請額が見込みより少なかったことによる執行残や、「学校ICT環境整備促進事業」における校内通信ネットワーク整備工事等の執行残などによるものです。

次に、「第15項 小学校費」については、光熱水費や燃料費の執行残などです。

また、「第20項 中学校費」については、光熱水費や委託料の執行残、修学旅行等が見込みより少なかったことによる就学援助の執行残などです。

次に、「第30項 社会教育費」については、工事請負費や、「受託発掘調査事業」の執行残などです。

次に、「第35項 保健体育費」ですが、「非常勤・臨時調理員賃金」、「学校給食センターの光熱水費」等の実績に伴う執行残などです。

教育委員会全体の歳出予算の執行率は、次年度へ繰越す分を含めて約96.7%です。

以上が教育委員会の令和2年度決算の概要の説明です。

続きまして、別冊の議案第30号別紙3の主要施策の成果等説明書について、各課長より説明します。

川邊企画総務課長	<p>企画総務課です。別紙3の1ページをご覧ください。</p> <p>まず、一番上の「善行児童生徒表彰事業」29万2千円です。この事業は、他の児童生徒の模範となる善行者を表彰するもので、宮崎市教育振興基金を活用して実施しています。令和2年度は、市内全小中学校のうち、個人105人と4団体を表彰しています。</p> <p>次に、下から3段目の「学校林売払収益金活用事業」1,535万9千円です。学校林の売払いによる収益金を活用し、七野小学校のトイレ改修や田野中学校のテニスコート整備、屋外トイレ改修を行いました。</p> <p>次に、下から2段目の「たちあがろう 未来を担う中学生交流事業」10万4千円です。防災教育を進めるうえでの知識や見識を深めるとともに、防災意識のさらなる醸成を図るため、宮城県山元町より講師を招き、学校関係者を対象とした防災教育セミナーを行いました。なお、山元町との間で例年行っています中学生の交流事業については、コロナ禍のため中止としたところです。</p> <p>次に、1番下の段の「小学校管理運営費」5億987万円です。各小学校の消耗品費や備品購入費、事務機器のリース料、光熱水費のほか、学校環境の維持にかかる委託料など管理運営に要した経費を支出しています。</p> <p>次に、2ページをご覧ください。上から2段目の「宮崎市立古城小学校振興基金活用事業」62万6千円ですが、「古城小学校振興基金」を活用し、全国初の女性小学校長に就任した鳥原ツル氏を顕彰するとともに、古城小学校の児童の学習環境の充実を図りました。</p> <p>次に、その下の段の「小学校感染症対策事業（R2国補正）」7,394万1千円ですが、国の補助金や交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策等を徹底しながら、子どもたちの学習の機会を提供するため、必要な消耗品や備品を購入しました。</p> <p>次に、その下の段の「小学校教育教材用具等購入事業」7,438万8千円ですが、学習指導要領に基づいた教育課程を実施するために必要な教材などを整備しました。</p> <p>次に、その下の段の「小学校理科教育等設備器具購入事業」332万4千円ですが、新学習指導要領が令和2年度から本格実施となったことに伴い、必要となるプログラミング教材の整備を行い、理科教育環境の充実を図りました。</p> <p>次に、その下の段、中学校費関係ですが、「中学校管理運営費」は、2億8,479万6千円を支出しています。内容は小学校管理運営費と同様ですので、説明は割愛します。</p> <p>次に3ページをご覧ください。1番上の段の「中学校感染症対策事業」は、内容は小学校と同様で、国の補助金や交付金を活用し、3,748万8千円を支出しています。</p> <p>また、その下の段の「中学校教育教材用具等購入事業」につきましても、小学校と同様の内容で3,308万1千円を支出しています。その下の「中学校理科教育等設備器具購入事業」248万2千円については、中学校で必要とする理科の備品の整備と更新を行い、理科教育環境の充実を図ったものです。</p> <p>企画総務課の主な施策に関する説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいまの説明について、ご質問はありませんか。

委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、続いて学校教育課長から説明をお願いします。
牧野学校教育課長	<p>学校教育課長です。引き続き、主な事業の内容につきましてご説明します。9ページをご覧ください。</p> <p>上から3番目の「『地域とつながる』キャリア教育推進事業」266万4千円です。本事業では、9年間を見通したキャリア教育を推進するため、3つのキャリア教育推進モデル校区を設定し、実践研究を実施するとともに、教職員のキャリア教育への理解を深めるため、文部科学省の調査官を講師に招き、研修会を実施しました。</p> <p>なお、例年実施しています職場体験学習「夢ワーク21」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっております。</p> <p>次に、一番下の段をご覧ください。</p> <p>「小中学校スクールカウンセリング等事業」867万4千円です。本事業は、小中学校のいじめや不登校に関する児童・生徒および保護者や教職員への相談ニーズに対応するため、専門的な知識をもつ方によるカウンセリングを行うとともに、小学校及び中学校、合計21校にスクールアシスタントを配置するための補助事業を行いました。</p> <p>次に、10ページをご覧ください。下から二段目、「特別支援教育学びのサポート総合事業」1億3,621万2千円です。特別支援学級における授業や、発達障がいのある児童・生徒の学習、下肢等の障がいによる困難さに対して教育的支援を行うため、「授業スタッフ」「スクールサポーター」「生活・学習アシスタント」の支援員を派遣しました。派遣者数は、「授業スタッフ」は30人、「スクールサポーター」は60人、「生活・学習アシスタント」は53人でした。</p> <p>その下の段、「あたたかな人間関係づくりサポート事業」505万円です。本事業は、学校生活における児童生徒一人一人の意欲や満足度を測るアンケート（Hyper-QU）の結果を児童生徒の人間関係づくりに活用し、より良い学級集団づくりを支援することを目的としています。児童生徒の一人一人が抱える問題が外部から見えにくくなっていると共に、児童生徒の問題に合わせた教師の支援が困難化していることから、各学校においてアンケート結果を活用し、生徒指導上の問題への早期発見と早期予防に取り組みました。</p> <p>次に、11ページをご覧ください。下から3段目「小中学校メディア安全指導・SNS相談体制整備事業」569万円です。児童・生徒を対象に、メディアの安全使用を目的とする指導員の派遣を行ったほか、SNS（LINE）を活用した、いじめ・虐待など、児童の様々な悩みに関する相談業務を夏季と冬季の休業明けに実施しました。</p> <p>次に、12ページをご覧ください。一番下の段、「小学校学力向上推進事業」1,759万2千円です。学力の向上を図るため、小学校の実情に応じて非常勤講師を派遣し、授業における担任とのチームティーチングや個別指導、グループ指導等の手立てが必要な児童に対する、学習支援などを行いました。小学校9校に9人を派</p>

	<p>遣します。</p> <p>次に、13ページ上から5段目をご覧ください。「中学校習熟度別少人数指導推進事業」4,776万3千円です。生徒の学習の習熟度に応じて学級を分け、数学・英語のきめ細やかな授業を行うため、非常勤講師を24校に24人派遣しました。</p> <p>前のページに戻っていただいて、12ページの1段目の段をご覧ください。「小学校教育振興就学援助事業」1億493万5千円です。併せて14ページ1番目の段、「中学校教育振興就学援助事業」1億1,325万8千円です。この2つの事業では、経済的理由によって就学困難な児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給を行いました。学校教育課の主な施策に関する説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
今門代表教育委員	<p>2点質問です。</p> <p>1点目は、12ページの「小学校教育振興就学援助事業」1億493万5千円と「中学校教育振興就学援助事業」1億1,325万8千円についてですが、かっこ内の数字は特別支援教育関係だということですが、大変大きな額になっていると思うのですが、実際、特別支援教育の対象者が増えているということですか。</p> <p>2点目は、「小学校学力推進事業」で小学校9校に9人を派遣して、学習支援を行ったとありますが、これは、大規模校などに派遣されているのでしょうか。</p>
牧野学校教育課長	<p>1点目のご質問ですが、毎年、特別支援教育が必要な子どもは少しずつ増えています。また、今年度、コロナの関係で経済的に苦しくなったご家庭も増えていると推測されたため、そこを補うような手立てを打ちましたので、増額になっています。</p> <p>2点目のご質問ですが、大規模校や、学習支援に課題のある学校に配置されます。どの学校も講師の配置希望をされるのですが、予算をつけても人材が見つからないという状況がありますので、学校教育課で学校を選定して、配置をしています。</p>
西田教育長	他にご質問はありませんでしょうか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、続いて、生涯学習課お願いします。
中野生涯学習課長	<p>生涯学習課です。17ページをご覧ください。</p> <p>まず、一段目の「児童クラブ運営事業」6億3,189万8千円、二段目の「きよたけ児童クラブ施設指定管理料」1,439万円です。小学校の余裕教室等を利用した児童クラブ54か所を開設し、表の一番下の段に掲載してありますように、延べ65万8,467人の利用がありました。</p> <p>次に、18ページをご覧ください。一段目の「児童クラブ施設整備事業」1,715万8千円です。表を掲載していますが、昨年度は、3つの学校施設の活用により、94人分の定員を増やしました。</p> <p>次に、19ページです。二段目の「子ども会関係活動事業」266万9千円です。子どもを対象としたリーダー研修会を実施しましたほか、各地域の単位子ども会が行う活動に対し、事業支援を行いました。</p> <p>次に、三段目の「放課後子ども教室推進事業」1,237万1千円です。放課後や週末等に学校の施設や公民館を活用し、子どもた</p>

	<p>ちの活動拠点を設け、地域社会の中での子どもたちの健全育成のための環境づくりを推進しました。令和2年度は、24教室、延べ2万8,810人の参加がありました。</p> <p>次に、21ページです。一段目の「地域と学校の連携による教育活動支援事業」63万9千円です。地域と学校の連携体制を構築するための事業で、1つの小学校及び2つの中学校区に、学校支援コーディネーターを配置し、学習支援や学校行事の支援などの学校支援などを行いました。</p> <p>次に、23ページ、24ページは、図書館や読書推進関係の事業です。23ページ一番下の「図書館ネットワーク事業」536万2千円です。図書館の本を身近に利用いただけるよう、市民の皆様や小中学校からの予約に応じて、各地区の公立公民館や小中学校に配本を行う事業でありまして、特に、令和2年度の公民館での配本利用者数については、コロナ禍における巣ごもり需要もあってか、例年の約1.5倍、1万8146人のご利用をいただいたところです。</p> <p>24ページの下から3段目「ブックスタート事業」358万円です。読み聞かせの重要性等を認識いただくため、7～8か月健診時の乳児及びその保護者に対し、絵本2冊を各小児科医から配付していただく事業でございまして、昨年度も3,117人にお贈りすることで、家庭での読書推進に努めたところです。</p> <p>次に25ページをご覧ください。一段目の「青少年非行防止・育成事業」1,083万1千円、その下の「青少年育成センター管理費」140万7千円です。青少年育成センターの維持管理のほか、センターを拠点として、青少年の健全育成を図るため、青少年指導委員の方々にご協力をいただきながら、街頭指導活動、相談活動、啓発活動等の充実を図っています。</p> <p>次に、26ページ、27ページは、「宮崎科学技術館」「大淀川学習館」「きよたけ児童文化センター」の管理運営に関するものです。26ページの一段目が「科学技術館指定管理料」1億4,792万4千円、次の「大淀川学習館指定管理料」7,927万8千円です。いずれも、公益財団法人宮崎文化振興協会に指定管理をお願いしており、宮崎科学技術館ではプラネタリウムでのコンサートや読み聞かせ、大淀川学習館では生き物とのふれあいイベントなどに取り組んでいただいたところです。</p> <p>次に、27ページの二段目「大淀川学習館施設改修・更新事業」2,964万5千円です。老朽化した空調設備の更新工事を、令和元年度及び令和2年度の2年間で計画的に実施し、令和2年度は1階エントランスや2階レクチャー室等の空調機器の更新等を行いました。以上で、生涯学習課の説明を終わります。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、続いて、学校施設課お願いします。
河野学校施設課	<p>学校施設課の主な事業について説明します。資料の4ページをご覧ください。</p> <p>小学校費関係です。一番上の「小学校施設改善事業」9,354万9千円です。老朽化した学校施設の補修等を実施し、教育環境の改善を図っています。</p> <p>次に、上から5段目の「小学校施設管理運営費」6,020万</p>

	<p>8千円です。各小学校の法定点検手数料や学校施設の維持管理にかかる委託費用など、管理運営に要した経費を執行しています。</p> <p>次に、上から6段目をご覧ください。学校建設費関係です。主な事業は、「小学校施設整備事業」として8,362万1千円、その下の「小学校屋内運動場屋根防水改修事業」として3,035万9千円、その下の「小学校校舎屋根防水改修事業」として5,767万4千円、次の5ページの一番上の「小学校トイレ改修事業」として4,134万4千円、上から3段目の「小学校屋内運動場非構造部材耐震化事業」として1,005万2千円、下から2段目の「小学校屋内運動場アリーナ床等改修事業」として253万8千円、さらに次の6ページの上から2段目の「小学校空調設備整備PFI事業」として19億9,907万3千円を執行するなど、学校施設の機能向上や長寿命化対策を行っています。</p> <p>戻りまして、4ページの一番下の「小学校校舎外壁落下防止対策事業」として2,484万2千円、さらに6ページの下から4段目の「避難経路安全対策事業」として48万7千円を執行するなど、児童等の安全確保を図っています。</p> <p>次に、5ページの上から2段目の「小学校高圧受変電設備更新事業」として4,270万4千円、上から4段目の「小学校空気調和設備更新事業」として5,100万3千円を執行するなど、学校施設の機能維持を図っています。</p> <p>続きまして、資料の6ページをご覧ください。中学校費関係です。下から3段目の「中学校施設改善事業」ですが、内容は小学校費と同様で、3,674万3千円を執行しています。</p> <p>次に、7ページの上から2段目の「中学校施設管理運営費」につきましても、小学校費と同様の内容で3,681万7千円を執行しています。</p> <p>次に、上から3段目をご覧ください。学校建設費関係です。主な事業は、「中学校施設整備事業」として5,585万円7千円、その下の「中学校屋内運動場屋根防水改修事業」として4,934万円、その下の「中学校校舎屋根防水改修事業」として3,495万2千円、次の8ページの一番上の「中学校トイレ改修事業」として3,853万4千円、下から3段目の「中学校屋内運動場非構造部材耐震化事業」として200万円を執行するなど、学校施設の機能向上や長寿命化対策を行っています。</p> <p>また、7ページの下から2段目の「中学校校舎外壁落下防止対策事業」として1,996万1千円を執行するなど、生徒等の安全確保を図っています。</p> <p>次に、8ページの上から2段目の「中学校高圧受変電設備更新事業」として96万3千円、その下の「中学校屋内運動場大規模改造事業」として961万4千円、下から2段目の「中学校空気調和設備更新事業」として423万5千円を執行するなど、学校施設の機能維持を図っています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
畠山教育委員	学校施設課の様々な取組によって、子どもたちの安全な環境づくりが進んでいくと思いますが、課題になっているトイレの改修事業は、少しスピードが遅いのかなという感じもします。全てのトイレ

	を和式から、洋式化するにはどれくらい事業費がかかるのでしょうか。
河野学校施設課	<p>まだ、全体事業費については計算していませんが、今、現在でのトイレの洋式化の整備率が大体38パーセントになっています。来年度の達成目標が39パーセントですが、それはクリアできる予定です。しかし、ご指摘のとおり、洋式化率というのが向上しないというのも、私たちも認識しています。実は、トイレの「改修事業」と「洋式化事業」は別々に予算を組んでいます。「改修事業」が、トイレの壁などの内装一式を全て替えることで、こちらの事業のほうはかなり圧迫しています。もう一つの「洋式化事業」は、便器だけを取り換える事業で、毎年、一校一つ、男女和式を洋式に変えています。それは、長寿命化計画事業の改定時に、方針を少し変更しようと考えており、それによって、洋式化率をあげていこうと思います。</p>
畠山教育委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校支援訪問に行ったときも、子どもたちが綺麗に靴を並べたり、掃除も一生懸命取り組んでいましたので、トイレについても衛生的なものにしてあげるために、もう少しスピードをあげてもらおうと有難いなと思っていました。厳しい予算の中で取り組んでいると思いますが、是非いい方向に動きますようによろしくお願いします。</p>
西田教育長	他にご質問はありませんでしょうか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、次に教育情報研修センターをお願いします。
堀之内教育情報研修センター所長	<p>教育情報研修センターの主な事業について説明します。</p> <p>まず、15ページ、一番上の「教職員研修運営事業」116万5千円です。教職員の資質向上のため、32講座43回の研修を実施し、延べ2,617名の教職員が受講します。また、教職員の指導力向上のため、研究論文の募集を行い、優秀作品の表彰を行いました。</p> <p>次に、「情報教育推進事業」5,433万7千円です。情報教育アドバイザーを各学校へ派遣し、児童生徒へのコンピュータを活用した学習支援や教職員への授業支援を行い、情報教育の充実を図りました。また、著作物をインターネットを通して教材として児童・生徒に配信する際に、無許諾で利用可能となる授業目的公衆送信補償金制度に係る補償金491万円を令和3年度へ繰越しています。</p> <p>次に、「学校ICT環境整備促進事業」5億4,274万3千円です。小・中学校72校のパソコン室のパソコン3,196台と校務用パソコン2,861台を令和2年1月からリース開始しています。また、児童・生徒の学習用タブレット端末未設定分21,561台、並びに教職員用タブレット端末2,167台のWi-Fi通信設定及び学習用アプリケーションインストール作業の業務委託費、7,830万3千円は、令和3年度へ繰越しています。</p> <p>次に、「学校ICT環境整備促進事業（令和元年国補正分）」は、令和元年度から繰越分8億4,684万円と3億5,292万2千円です。令和元年度から予算を繰越し、GIGAスクール構想実現のために、小・中学校のWi-Fi通信ネットワーク及びタブレッ</p>

	<p>ト保管庫整備工事を行ったほか、小・中学校のW i - F i通信ネットワーク環境下で使用可能な児童・生徒の学習用タブレット端末7, 718台を整備します。</p> <p>次に、「学校ICT環境整備促進事業（令和2年国補正分）」が1億2,310万9千円です。令和元年国補正にて整備を行った内容と同様に、児童・生徒への1人1台の学習用タブレット端末の整備及び授業を行う教職員用のタブレット端末の整備を行いました。</p> <p>次に、16ページ一番上の「タブレット導入事業」60万7千円です。小中学校において、タブレット機器を有効に活用するための検証用として、平成28年9月から今年8月までの5年間、教育情報研修センターに導入したタブレット機器等のリース料です。</p> <p>次に、「小中学校外国語教育推進事業」1,822万5千円です。外国語指導助手（ALT）を25の中学校区、及びその校区内の小学校に配置し、小学校5年生から中学校3年生までの外国語科において、ティームティーチングを行いました。また、小学校1年生から小学校4年生においては、外国語活動アシスタント（FLAA）を派遣し、外国の文化などに触れる機会を設け、コミュニケーション能力の向上を図りました。なお、外国語指導助手（ALT）と外国語活動アシスタント（FLAA）の人件費については、センター執行分のほか1億1,440万5千円を人事課にて執行しています。説明は、以上です。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
今門代表教育委員	以前、新聞で、ALTの先生がコロナ禍で日本に来れないことが掲載されていたと思いますが、夏休み中に母国に帰って、日本に戻って来れないといったことはありますか。
堀之内教育情報研修センター所長	<p>宮崎市のALTは定員が25人になっていますが、昨年度は4名が入国出来ず、欠員の状態でしたので21人でした。</p> <p>今年度も10名が母国に帰国をするので、10名欠員になりますが、12月までには、欠員の10名について派遣されるということになっています。一番早い方で9月から来ていただく予定です。</p>
西田教育長	他にご質問はありませんでしょうか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、次に保健給食課をお願いします。
大賀保健給食課長	<p>続きまして、保健給食課の主な事業についてご説明します。「主要施策の成果等説明書」の28ページをご覧ください。</p> <p>一番上の「学校保健安全事業」の1億3,622万8千円ですが、「学校保健安全法」に基づき児童生徒の健康診断や、宮崎市学校保健関係表彰式を開催しました。また、宮崎地区歯科保健大会については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となっております。</p> <p>また、2段目、「就学時健康診断事業」の743万6千円、3段目の教職員健康診断事業の1,666万8千円につきましても、「学校保健安全法」に基づく健康診断事業となっております。</p> <p>続きまして、29ページをご覧ください。一番上の「思春期健康教育推進事業」の132万円ですが、学校へ医師・保健師・助産師を派遣し、「命の大切さ」や性に対する正しい知識等についての講演を行い、延べ58校において151人を派遣しています。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による小中学校の臨時休業等により、14校の公演が中止となりました。</p>

	<p>次に、学校フッ化物応用事業の1万4千円ですが、児童生徒のむし歯予防を図るため、全ての市立小中学校においてフッ化物洗口を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたので、消耗品購入のみの実績となります。</p> <p>続きまして、「学校給食管理運営費」の1億5,391万9千円、「学校給食センター管理運営費」の2億3,391万1千円ですが、これは、45箇所の単独調理場及び5箇所の共同調理場の管理運営等の経費で、老朽化した施設や設備の維持管理、修繕等を行ったものです。</p> <p>次に、「学校給食食材加工等業務委託」の5億6,943万円ですが、令和2年度は、新たに小学校2校が加わり、単独調理場38校、共同調理場3箇所に民間委託を行いました。</p> <p>次に、「単独調理場空調設備整備事業」の4,508万7千円ですが、本郷小学校・木花中学校の2校に空調設備を設置し、衛生管理と調理員の労働環境の改善を図っています。</p> <p>続きまして30ページをご覧ください。</p> <p>「食育推進事業」の139万3千円です。「親子料理教室」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでしたが、「食育実践事業」については、実施校に対し、必要経費の配分を行いました。</p> <p>次に、「学校給食費返還等補助事業」の3,209万4千円ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、給食が3月及び4月以降に急遽中止になったことに伴い、保護者の負担軽減のため、学校等で生じた廃棄食材に対する費用の補填を行うとともに、給食納入業者に対して助成を行いました。</p> <p>最後に、「衛生管理改善費補助事業」の367万4千円ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、衛生管理の徹底・改善を図るための設備の更新や衛生関係消耗品の購入を支援するため、事業者に対して助成を行いました。保健給食課の説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
片山教育委員	29ページの上段にある「思春期健康教育推進事業」は、保健師や助産師を派遣して講演を行った学校は全部で小中学校72校のうち58校ということですが、58校の学校から講演の依頼があって派遣をしているのですか。また、全部の学校が実施しているわけではないということは、教育課程の中に組み込まれているのではないのですか。
大賀保健給食課長	「思春期健康教育推進事業」は、教育課程に組み込まれているものではなく、各学校の希望をとり、講演を受ける学年などについても先生方の判断で取り入れられます。そのため、全ての学校で実施されるわけではありません。
片山教育委員	今、子どもたちの周りには、性に関する様々な情報が溢れていて、私達が知らないことまで知っています。性に関する情報を知ることができるサイトに簡単にアクセス出来たり、タブレットの持ち帰りができるようになって、インターネットが身近になるということで、ネットリテラシー教育も連携していただくと有難いと思います。生理が始まったらどうするのかなど、家庭で話をしあげられればよいですが、全ての家庭がそのように話ができる訳ではないと思います。ネットの世界で生きる子ども達にとって、危険なことも

	多いのではないかと思ったところでした。
西田教育長	他にご質問はありませんでしょうか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、次に文化財課お願いします。
白坂文化財課長	<p>文化財課の主要施策の成果等の主なものについて、説明します。主要施策の成果等説明書の31ページをご覧ください。</p> <p>1段目の「文化財保護調査管理費」1,998万円です。事業内容の主なものは、文化財審議会の開催のほか、指定文化財の管理のため、草刈や樹木伐採などを、地元保存会や民間事業者等への委託などを行いました。</p> <p>次に、3段目の「生目古墳群史跡公園整備事業」576万9千円です。生目古墳群は、国の補助を受けて計画的に保存整備を行っていますが、昨年度は、21号墳の解説板の設置や園路案内板の設置などの整備工事を行いました。</p> <p>4段目「生目古墳群世界文化遺産登録推進事業」79万2千円です。コロナの影響により、毎年実施していた「みやざき生目古墳まつり」は中止しましたが、小学6年生向けハンドブックを作成し、生目古墳群の認知度を高める取組みを行いました。</p> <p>次に、国指定史跡の整備事業です。まとめて説明します。32ページをご覧ください。</p> <p>1段目の「蓮ヶ池横穴群保存整備事業」392万8千円、その下の「本野原遺跡保存整備事業」4,525万8千円、その下の「佐土原城跡保存整備事業」2,765万9千円、1つ飛んで「穆佐城跡保存整備事業」2,921万4千円です。</p> <p>これらの事業は、国の補助を受けて、整備計画に基づき、計画的に事業を進めてきたところですが、事業内容は記載のとおりですが、本野原遺跡に関しては、近辺の雨の量が異常に多く、史跡地内からの排水が、隣接する市道や畑などに越水する事案が発生していたことから、繰越事業で調整池とフェンスを整備し、遺跡内部の排水対策に重点を置きながら整備を進めて参りました。また、佐土原城跡及び穆佐城跡については、平成30年の台風24号により、倒木や土砂崩落等の被害がありましたので、その災害復旧を行いました。佐土原城に関しては、台風以来閉鎖していた登城路を本年3月に仮復旧ではありますが、開放することができました。</p> <p>次に、33ページ上から3段目の「受託発掘調査事業」5,103万8千円です。開発等により消滅する遺跡の記録保存を行うため、発掘調査、整理作業、報告書の作成を行うもので、宮崎市土地開発公社から受託した、第2花見工業団地の発掘調査を行い、その他は記載のとおり、整理作業を実施しました。</p> <p>次に、35ページの「歴史資料館管理運営事業」1億3,312万9千円です。生目の杜遊古館・佐土原歴史資料館・天ヶ城歴史民俗資料館の3館を公益財団法人「宮崎文化振興協会」に、安井息軒記念館をNPO法人「安井息軒顕彰会」に指定管理者として、運営を行ってもらう経費です。なお、指定管理期間は、記載の通り、令和2年4月から令和5年3月までです。説明は以上です。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	質問がないようでしたら、議案第30号「令和2年度一般会計歳

	入歳出決算の原案について」、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。 次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、事務局から「令和3年度宮崎市教育委員会点検・評価会議について」、説明をお願いします。
川邊企画総務課長	「令和3年度宮崎市教育委員会点検・評価会議の日程変更」について、ご説明します。 日程の延期をお願いしていました、今年度の点検評価会議については、9月27日月曜日14時から開催することとしましたので、お知らせします。委員の皆様におかれましては、日程調整にご協力いただき、ありがとうございました。なお、会議で頂きましたご意見等は、会議終了後に事務局にて報告書に反映し、委員の皆様と学識経験者の皆様に改めてご確認いただきます。その後、定例教育委員会で議案をご承認いただきまして、市議会への提出と市民への公表という流れで進めてまいります。説明は以上です。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、事務局から「令和3年度宮崎市総合教育会議について」、説明をお願いします。
川邊企画総務課長	「令和3年度宮崎市総合教育会議について」、ご説明します。 7月の定例教育委員会で本年度の総合教育会議の延期をお伝えしておりましたが、11月8日月曜日に開催が決定しましたので、お知らせします。なお、総合教育会議のテーマについても、勉強会を10月の定例教育委員会後に行いますのでよろしくをお願いします。以上です。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	それでは、「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	次回定例会は、令和3年9月29日（水）、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています。
西田教育長	ただ今説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。 続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	(行事予定説明)
西田教育長	以上をもちまして、第8回定例会を終了させていただきます。